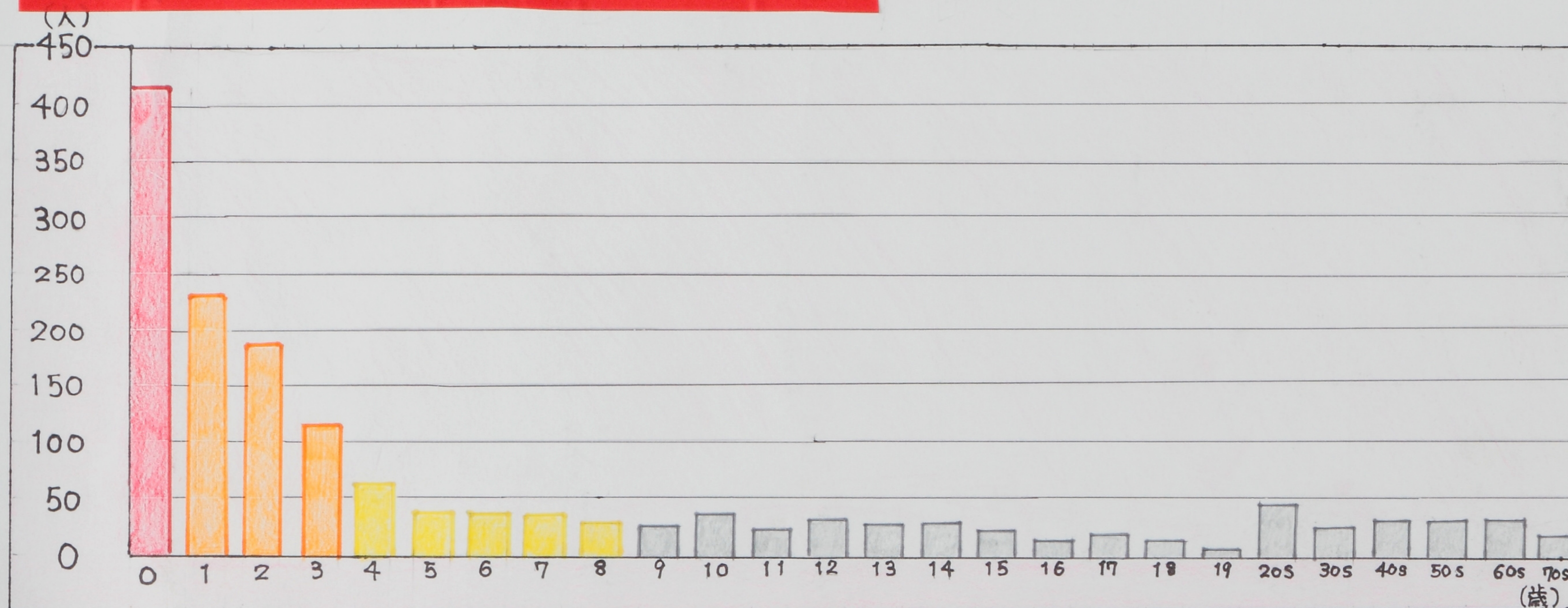


# 食物アレルギー

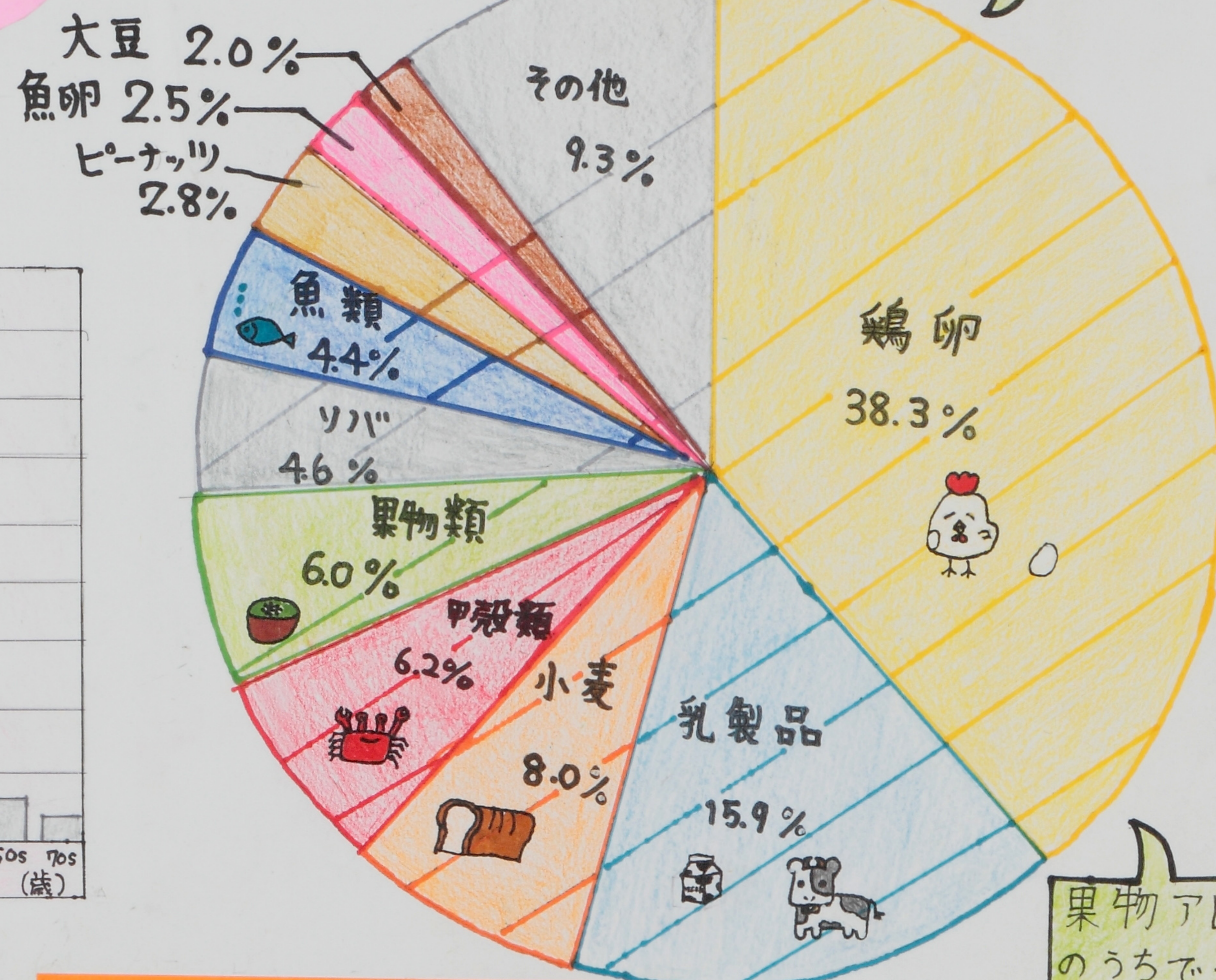
## 原因食物

わが国における食物アレルギー3大原因食物は鶏卵、牛乳、小麦である。かつて3番目に多いといわれてきた大豆にかわって、小麦が増えてきた。

## 食物アレルギーの年齢分布



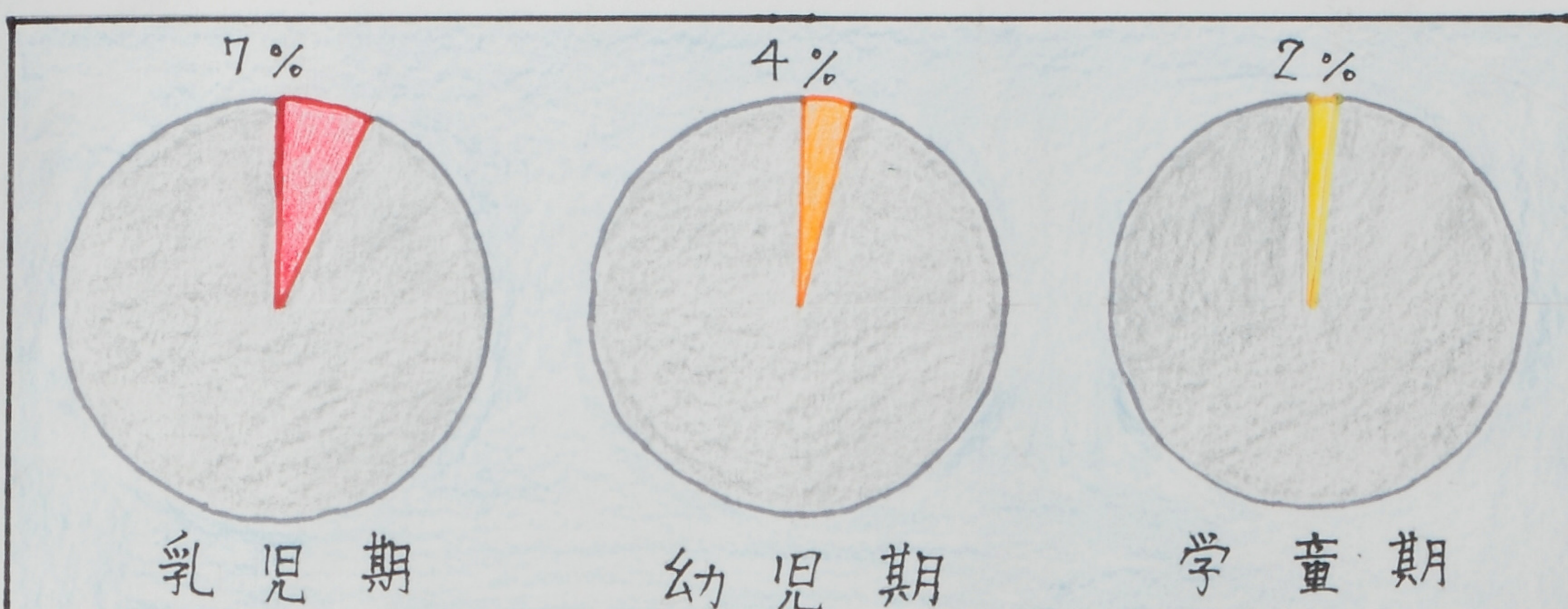
「科学評論社 臨床免疫, アレルギー科」より



「医薬ジャーナル社 アレルギー, 免疫 Vol.117」より

果物アレルギーのうちで一番多い種はキウイフルーツである。

0歳児がピークで29.3%を占め以降急激に減少する。3歳までに66.3%、8歳までに計80.1%を占める。



## 食物アレルギーの有病率

「科学評論社 臨床免疫, アレルギー科」より

## 年齢別原因食物

0歳	鶏卵 62%	乳製品 20%	小麦 7%	その他
1歳	鶏卵 45%	乳製品 16%	小麦 7%	その他
2.3歳	鶏卵 30%	乳製品 20%	小麦 8%	その他
4~6歳	鶏卵 23%	乳製品 19%	甲殻類 9%	その他
7~19歳	甲殻類 16%	鶏卵 15%	そば 11%	その他
20歳以上	甲殻類 18%	小麦 15%	果物類 13%	その他

「医薬ジャーナル社 アレルギー, 免疫 Vol.117」より

0歳, 1歳, 2.3歳および4~6歳群において3大原因食物は鶏卵、牛乳、小麦であった。7~19歳はソバ、小麦、エビの頻度が多く、20歳以上群では魚類、エビ、ソバが3大原因食物となった。